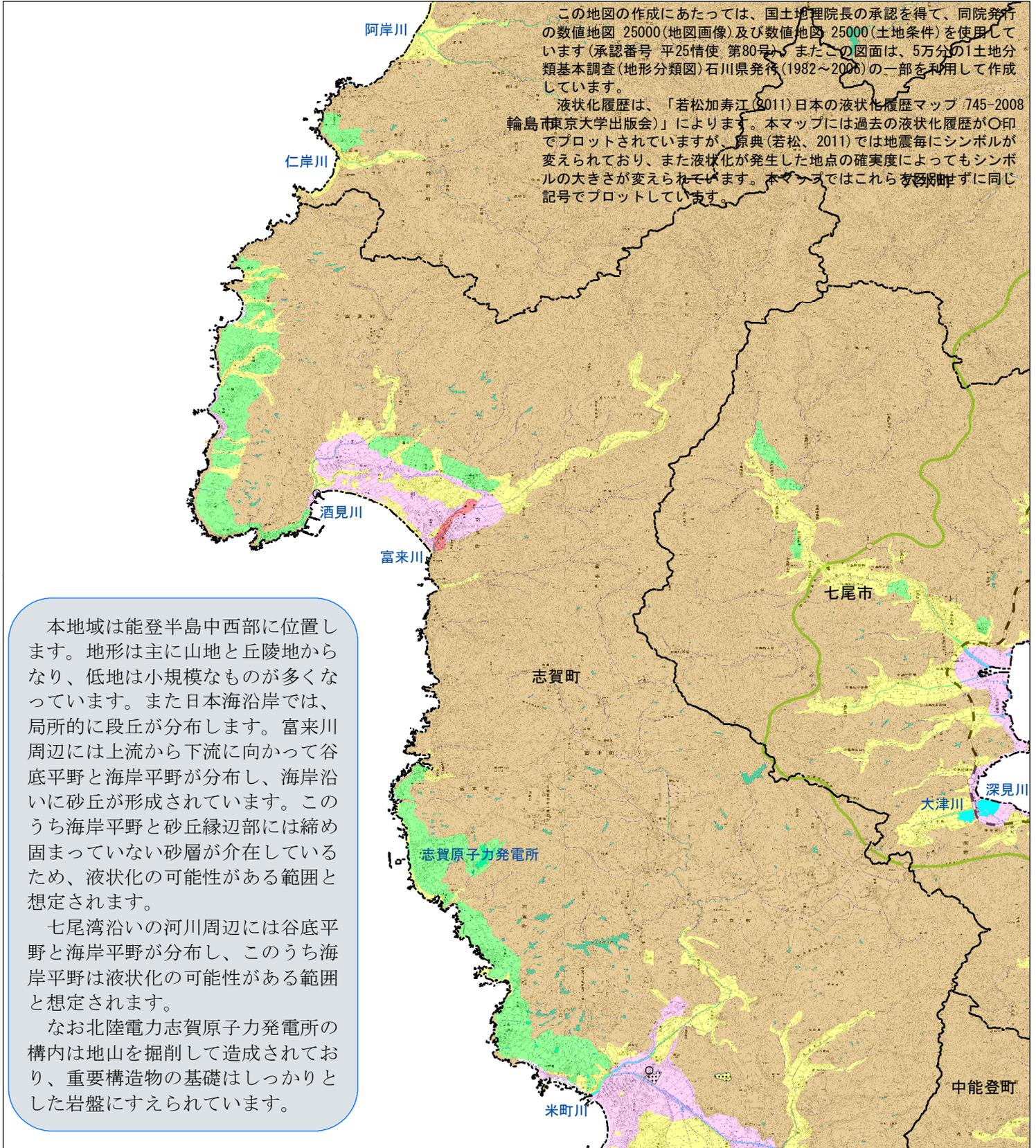
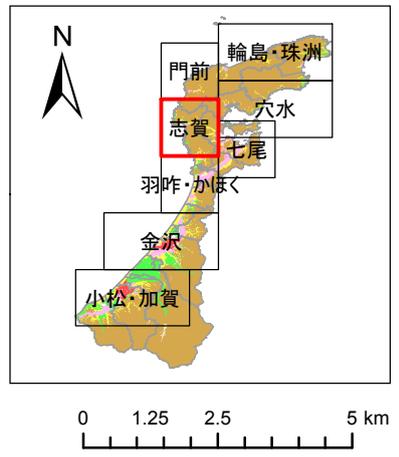
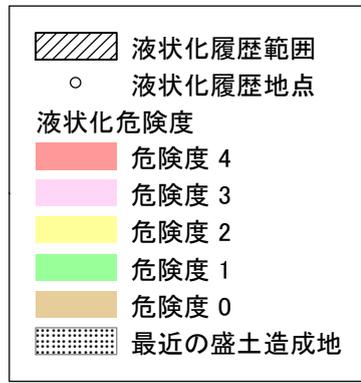


# 志賀地域

## 液状化しやすさマップ



本地域は能登半島中西部に位置します。地形は主に山地と丘陵地からなり、低地は小規模なものが多くなっています。また日本海沿岸では、局所的に段丘が分布します。富来川周辺には上流から下流に向かって谷底平野と海岸平野が分布し、海岸沿いに砂丘が形成されています。このうち海岸平野と砂丘縁辺部には締め固まっていない砂層が介在しているため、液状化の可能性がある範囲と想定されます。

七尾湾沿いの河川周辺には谷底平野と海岸平野が分布し、このうち海岸平野は液状化の可能性がある範囲と想定されます。

なお北陸電力志賀原子力発電所の構内は地山を掘削して造成されており、重要構造物の基礎はしっかりとした岩盤にすえられています。